

雨二毛負ケズ水潮二毛負ケズ あの手この手で攻め続け

優勝の加藤さん(中央)2位の松元さん(左)、3位の福中さん

条件二毛負ケズ



夏チヌ攻略

一瞬の小さなタリも逃すまいとオオのオオに集中する参加者

日刊スポーツ、日刊銀鱗倶楽部主催「月桂冠杯」和歌山・白浜筏チヌ釣りセミナー...

台風による潮が残る中、魚の活性が非常に低い中、数少ないチャンス...

加藤さん47.8センチゲット勝利
「兼松さんの指導のたまものです。セミナーで教わったオキアミの2匹を...

空閑さんキビル3匹仕留めた
「お酒が大好きなので、月桂冠賞を狙って...

月桂冠賞
「お酒が大好きなので、月桂冠賞を狙って...

日刊FPC兼松が実釣セミナー
エサの刺し方極意伝授
「兼松さんのDVDで釣りを研究している」という、加藤圭人君(中2)と、父親の和政さんにはダンゴの練り方から、アタリの出やすいサオの構え方まで熱心指導...

チヌの押しずし
①チヌを3枚におろす。荒塩をする。だし昆布をひき、魚を置いて、生卵にタカの爪一切れ入れ、1時間漬す。
②押しずしをつくる。③白飯昆布を魚の上に乗せて、当分に切って皿に盛る。
④押し箱にチヌを入れ、からしを塗り、煎山椒を一粒ずつ並べる。押し箱は箱から盛り上がるように入れて、体重をかけて押し。
⑤箱から抜き、白飯昆布を魚の上にかぶせ、適当な大きさに切って盛り。甘酢に漬けたしよがを添える。押しずしはマダイやブリなど白身の魚を使えばいろいろな味が楽しめます。試してください。(渡辺建治)

西野さん笑顔でPR
南紀白浜で行われた大会に日刊銀鱗倶楽部のフィッシングギャル西野こうみさん(写真)が花を添えてくれた。開会式、閉会式の司会進行、特別協賛の月桂冠提供の参加賞の配布、同社商品のPRと、大会参加者へさわやかな笑顔を振りまいていた。...